

応用物理学会 春季学術講演会 The 65th JSAP Spring Meeting, 2018

3.光・フォトンクス 分科企画シンポジウム (S4) 「光波センシングにおける偏光イメージング技術」

本シンポジウムでは、光波センシングにおける偏光の位置づけと工業分野だけでなく医療や宇宙という異分野の間で偏光を共通キーワードとした分野横断的な議論を目的として企画されました。偏光は、応用分野が多岐に渡るため、応用分野ごとに別々のセッションや学会で発表がなされ、「偏光」という共通のキーワードのもとに議論されることがあまりおおくありません。本シンポジウムは、国内外の様々な研究トピックを分野横断的に議論したいと思えます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。一般の講演も募集していますので皆様からの積極的な投稿をお待ちしています。

■日時 2018年3月18日 日曜日 (当初のご案内が17日になっていました。訂正してお詫びします)

■会場 早稲田大学西早稲田キャンパス

■招待講演者(敬称略)

- 偏光素子内蔵裏面照射型CMOSイメージセンサーとその応用
村山淳(ソニー)
- スペクトルによるスナップショット分光偏光イメージング
ネイサン・ヘーガン(宇都宮大学)
- 光スピンホール効果を利用したエリプソメータ
水谷康弘(大阪大学)
- 光コムを用いた分光エリプソメトリー法
南川丈夫, 安井武史(徳島大学)
- 偏光で見るバイオメカニクス – 偏光OCTとOCTエラストグラフィー
安野嘉晃(筑波大)
- 宇宙マイクロ波背景放射(CMB)偏光観測で探る宇宙の誕生と進化
羽澄 昌史(高エネルギー加速器研究機構)
- インタロダクトリートークおよび一般講演3件程度

■企画 光波センシング技術研究会

■世話人 大谷 幸利(宇都宮大), 相津 佳永(室蘭工大),
田中 哲 (防衛大), 塩田達俊(埼玉大),